

八街北中学校 齋藤 信彦先生 が選んだすてきな1冊

『氷菓』 米澤 穂信/[著] KADOKAWA /角川文庫

一人の時間を愛する男子高校生・折木奉太郎は伝統ある「古典部」に入部。自分だけの部活動に期待していたが、部員の一人、超好奇心旺盛な同学年・千反田えると出会い、高校生活の中で起こる謎を紐解いていくストーリーです。基本的にはミステリの形を取りますが、もちろん青春群像劇な面もあり、「省エネ主義」の折木くんが、千反田さんの好奇心に見事なまでに巻き込まれ感化されていく様子が見どころです。この本はタイトル「氷菓」についての謎が中心となりますが、シリーズ化されており、続編も非常に面白いのでお勧めです。



続編あり

次回(Summer Vacation25)は、
八街北中学校 佐藤 航平 先生です。どうぞ、お楽しみに！！

『12色でスタート! はじめてのコピックイラスト 公式ガイドブック』

ばびりい/著
トゥーマーカープロダクツ/著 マール社

図書館には、古典文学やライトノベルなどの物語の本だけでなく、自分の将来の夢や希望を叶えるために役立つ本がたくさんあります。例えばこの本は、絵を描く人におすすめ! 数多くのプロも愛用するマーカーをたった12本使うだけで、驚くほどクオリティの高いイラストが描けます。本格的なテクニックを初心者にもわかりやすく解説した入門書です。

他にもあなたのやりたい事に役立つ本と、図書館で出会えるかもしれません。

図書館職員おすすめ本

『あと少し、もう少し』

瀬尾 まいこ/著 新潮社

私がおすすめする本は、瀬尾まいこさんの「あと少し、もう少し」です。とある中学校で、駅伝大会に出るために集まった6人の男子生徒、しかし彼らはそれぞれに問題を抱えていて・・・!?という内容です。

一区から六区まで違う視点から話が展開され、お互いに走りながら、タスキをつなぎながら成長していく様子が爽やかに描かれています。彼らの一挙手一投足に注目して読んでみてください。

ジュニア司書マイスターおすすめ本



『世界を平和にするためのささやかな提案』

池澤 春菜 他/著 河出書房新社

穏やかな暮らしのなかで毎日を過ごしたい・・・。そんなささやかな望みが、いま誰もが切望するものとなっています。この本には絵本作家、学者や俳優など、各分野で活躍している22人の著名人の世界を平和にするための提案が記されています。紛争や戦争が起きるなか、わたしたちの平和はわたしたちがつくる! そんな意識が大切なかもしれません。当たり前のように平穏な毎日が送れるようになるにはどうすればよいのか、この本を読んでみなさんの考えるきっかけとなればと思います。

図書館職員おすすめ本

図書館 おすすめの本

『残り全部バケーション』 伊坂 幸太郎/著 集英社

小悪党の溝口と岡田の2人が主人公の物語です。今の仕事をやめたい岡田に、溝口は「PHSで適当な番号にかけた相手と友達になれたら抜けていい」と条件を出します。見事に友達になり、ドライブまでするものの、ドライブの帰りに上司に捕まって岡田が姿を消し、その生死は最後までわかりません。最終話でわかる、溝口の岡田への思い、岡田の生死・・・。目の離せない要素が盛り沢山!! 最初から最後までじっくりと読んでください!



ジュニア司書マイスターおすすめ本

『マリー・キュリーの挑戦 科学・ジェンダー・戦争』

川島 慶子/著 トランスビュー

一般的に知られたマリー・キュリーの人生や功績の解説を軸としつつ、不倫問題や自らが発見した放射能へのかたくなな過信など表向きにはあまり知られていない一面も挙げながら彼女の人間性を紹介し、キュリー夫人の周囲の人々や起こった出来事についても、当時の社会情勢や世間の価値観、差別問題などを踏まえつつ掘り下げた一冊です。キュリー夫人はいかにして偉大な科学者となったのか、彼女はどのような環境で何を思って生涯を科学者としてつらぬいたのかがよくわかる本です。

ジュニア司書マイスターおすすめ本

『きみと繰り返す、あの夏の世界』

和泉 あや/著 スターツ出版

時間を巻き戻せたら、きっとやり直せるのに。と思ったことはないでしょうか。過去に戻るのには不可能ですが、やはり、やり直しを望んでしまいます。しかし、やり直しとは言っても、できることを一つずつクリアするのは難しいけれど、この本のようにあきらめないで前向きにいればきっと自分自身の支えとなる、心に寄り添ってくれるそんな1冊です。



ジュニア司書マイスターおすすめ本

『流浪の月』 凧良 ゆう/著 東京創元社

私がおすすめする本は、凧良ゆうさんの「流浪の月」です。この本は本屋大賞にも選ばれたので、読んだことがある人もいないかもしれません。簡単なあらすじは、誘拐事件の被害者と加害者のその後を描いた物語です。事実を言っても信じてもらえない本人たちと、世間のズレが凧良ゆうさんの世界観で印象的に書かれています。ぜひ読んでみてください。



ジュニア司書マイスターおすすめ本